

令和6年度「香々地宇宙学校」「ペルセウス座流星群観察会」事業報告書

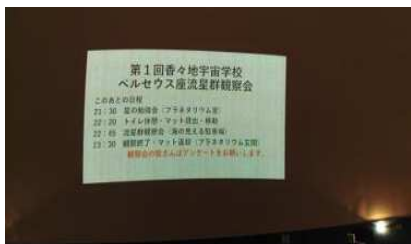
1 事業内容

- (1) 趣 旨 星の勉強会や星空観察会等香々地の美しい星空に触れる活動を通して、宇宙科学や星空への興味関心を高めるとともに、豊かな感性を育む。
- (2) 対 象 県内在住の家族10組程度 ※観察会：20名程度
- (3) 期 日 令和6年8月12日（月）から13日（火）までの1泊2日
- (4) 日 程

	時刻	内 容	場 所
12日	18:30	受付	本館宿泊棟1F 創作室 創作室
	19:00	開会行事 オリエンテーション 諸連絡	
	19:30	活動① 望遠鏡作成～月の観察（説明：藤川）	
	20:30	入浴・移動	本館浴室 プラネタリウム館
	21:30	活動② 星の勉強会（解説：藤川）	
	22:45	活動③ 流星群観察（解説：藤川）	海の見える駐車場 本館宿泊棟 (宿泊棟屋上)
	22:30	観察会終了～マット返却～移動	
	24:00	サイレントタイム・就寝 (継続観察可)	
13日	7:30	アンケート提出 退所	
	9:00	最終退所	

※活動②・③を「流星群観察会」として同時開催

- 2 参加者数 9家族31名（1家族4名欠席） ※観察会 8家族30名
- 3 満足度 満足・やや満足100%（4段階評価 3.8）
※満足・やや満足100%（4段階評価 3.3）
- 4 参加者の声 アンケート参照
- 5 活動の様子



5 成果と課題等

(1) 成 果

・望遠鏡作成の満足度が高い

キットのため作成が短時間で失敗がない。

作成から月観察まで、保護者が子どもを躡ける姿（家庭教育の場）を多く見ることができた。

はじめて望遠鏡を使う参加者が多く、自分たちで作った望遠鏡で月を観察することで、満足度が高まったと思われる。

参加者から、望遠鏡内部のしくみがわかり、よい勉強になったという声が聞かれた。

・星空への興味関心を高めることができた

観察会時は雲により数個の流星に留まったが、夜半から早朝にかけて多くの流星を観察できた。

0時から2時まで観察、3時半から日の出まで観察する家庭があった。

本館屋上は星空観察に最適である。

(2) 課題

・参加者に申込が完了しているか不安を感じさせた

自動返信メール等、申込受理の連絡が必要である。

・観察会参加者の満足度が低い

観察会時に雲がかかり、満足に観察することができなかった。学習会時に屋外と空状況の連絡を取り合い、プラネタリウムで疑似体験をするなどの工夫が必要である。

・観察会の定員を再考する

今回、配布できるキャンピングマットの数量で定員を50名程度と考えた。

マットの経年劣化が懸念されるため、次回は参加者に持参させ、定員を増やす方向で考えたい。

(注意！布団干し専用ブルーシートは使用不可)